

一般質問通告書

令和元年12月定例会

1番 恒松恵子議員（一問一答）

1 小野田駅前都市再生整備計画を問う。

- (1) 現在の進捗状況について
- (2) 事業用地の収用状況について

2 小野田駅の周辺状況の改善・整備及び交通手段確保について問う。

- (1) 悪天候によるJR運休時の代替交通手段の確保について
- (2) 公衆便所の設置について

3 女性の就労に伴う諸課題を問う。

- (1) 幼保無償化に伴う現状と課題について
- (2) 多様化する就労形態による保育園及び放課後児童クラブの利用について
- (3) 女性の再就職支援と就労状況について
- (4) 女性の起業支援に係る市の取組について

2番 山田伸幸議員（一問一答）

1 藤田市長の政治姿勢について

- (1) 議会の一般質問、委員会への対応について市長の認識を問う。
- (2) 市長が掲げたスマイルシティ、ハロウィンイベントは市民に浸透していると考えているのか。
- (3) 埴生地区宇宙監視レーダーに対する市長の姿勢と市民の中にある問題意識や不安とのずれについて、市長の認識を問う。
- (4) 地方卸売市場の問題解決や取扱高の回復にどう取り組んだのか。
- (5) 宇部市との境に建設が進められている大規模ソーラー発電所と自然災害に対する市民の不安にどう応えるのか。

2 市民病院が名指しされた地域医療構想を受けた病院再編に対する問題について

- (1) 病院局はどう受け止めたのか。
- (2) 病院局が今後とるべき改善の方向性についてどのように考えているのか。

3 番 吉 永 美 子 議員 (一問一答)

1 地域包括ケアシステム構築の推進について

- (1) 本市の主たる課題を聞く。
- (2) 中心的な役割を果たす地域包括支援センターの機能強化について考えを聞く。

2 読書活動を更に前進させるために

- (1) セカンドブック事業開始の検討状況を聞く。
- (2) 全国で取組が進んでいる読書通帳導入の考えを聞く。
- (3) 読書バリアフリー法成立による本市の取組予定を聞く。

3 ガラス文化の振興について

- (1) 新斎場におけるガラスアートの評価を聞く。
- (2) 公共施設の新設及び改修の際、ガラスアートを取り入れることについて方針を聞く。
- (3) 第8回現代ガラス展の取組について検討状況を聞く。

4 番 森 山 喜 久 議員 (分割質問・分割答弁)

1 組織改編について

来年度から地域振興部が廃止予定だが、2年前に本市の持つ多彩な地域資源を活用し、効果的なシティセールスを展開するための諸施策に取り組むために、それまでの文化・スポーツ振興部を廃止し、新たに地域振興部を設置する、という説明で組織改編が行われた。

- (1) 文化・スポーツ関係が単独の部から、地域振興部に組み入れられ、それが2年たつと市民部へと移り変わることになるが、今までの検証結果とその成果について問う。
- (2) 地域振興部としての2年間の検証結果とその成果について問う。

2 公共施設における防火対策について

市の総合防災訓練や各地区、自治会での防災訓練が実施されているが、その一方で本市の公共施設では老朽化が進んでおり、漏電による火災等の危険性も考慮し、ハード面・ソフト面の両面で対策を考えるべきである。その上で、

- (1) 本庁舎、厚狭地区複合施設、不二輸送機ホールの防火対策について問う。
- (2) 本庁舎、厚狭地区複合施設、不二輸送機ホールにおける、避難訓練(誘導も含む)の実施状況について問う。
- (3) 厚狭地区複合施設、不二輸送機ホールにおけるイベント時の避難誘導体制について問う。

5番 伊場 勇 議員 (分割質問・分割答弁)

1 県立おのだサッカー交流公園について

- (1) 県から市への移管について市の考えを問う。
- (2) 隣接する東沖緑地公園は昭和61年に緩衝緑地として整備されたが、当初の目的と現在の状況に鑑みれば、東沖緑地の場所に駐車場をつくり施設環境の充実を図るべきと考えるが市の考えを問う。
- (3) サッカー以外での有効利用について市の考えを問う。

2 スマートシティの実現に向けて

スマートシティ(都市の抱える諸問題に対して、ICT等の新技術を活用しつつマネジメントが行われ、全体最適化が図られる持続可能な都市又は地区)の実現に向けて全庁を挙げて取り組むべきと考える。

- (1) 「スマートシティ」という概念をどのように理解しているのか問う。
- (2) 「スマートシティ」について構想・計画の必要性について問う。
- (3) 他市との連携について問う。

6番 笹木 慶之 議員 (分割質問・分割答弁)

1 まち・ひと・しごと創生総合戦略について

人口減少・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、政府一体となって取り組み、各地域がそれぞれの特徴をいかした自律的で、持続的な社会を目指し取り組んできた。本市においてもこれを受け、国の4つの基本目標に沿って①本市の資産を活用し“安定した”雇用をつくる、②「学びの力」により新しい人の流れをつくる、③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、④持続可能で元気な“住みよい”地域社会をつくる、を基本項目に掲げ、本市の第二次総合計画にも織り込み、取り組んできた。

2019年はこの第一期の総仕上げとしてこの検証を行い、第二期に向けた取組をまとめることとなっている。

そこで、次の3点について伺う。

- (1) 検証から何が見え、何を学び、何を悟り、どんな課題を知り得たか。
- (2) 本市の人口動態の分析から現状の課題と今後の対応について。
- (3) 地域のポテンシャル(潜在能力)・地域資源及び地域の特性をいかした自律的・持続的な社会の構築に向けた取組の成果と課題及び今後の対応について

2 効果的・効率的な行財政運営における地域共生社会の構築について

少子化・超高齢化における人口減少に加え地方分権社会の推進より、地

方自治体の行財政運営はますます厳しくなる中、地域社会や家族の構造は大きく変化し福祉ニーズも複合的な課題を有するものとなっている。したがって、自治体運営を多元的に捉え、経済的・経営的な要素に加え、住民参加・パートナーシップ形成による地域共生社会の構築が明るく楽しい市の未来につながるものと思う。

そこで、次の5点について伺う。

- (1) 効果的・効率的な行財政運営と集中と選択による事業選定について
- (2) 現在の事務事業評価と地方産業連関分析の導入について
- (3) クラウドファンディングを活用した地域づくりの取組について
- (4) 自治体運営における市職員（定数内）の役割の変化とその対応について
- (5) シビックプライドにつなげた地域住民参加型管理方式（仮称）の拡大について

7番 長谷川 知 司 議員 （分割質問・分割答弁）

1 近隣市との行政サービスの差について

- (1) 近隣市と本市との出産・育児に対する行政サービスには差がある場合が多いが、市民に影響が生じている事例をどう把握しているのか。
- (2) 施設面でいえば本市の図書館、体育施設及びスマイルキッズでは、市外の人々の利用割合が多いが、市民ファーストとなっているか。
- (3) これらを含め行政サービスの差に対する今後の施策及び行政サービスに対する本市の方針を聞く。

2 少子化、高齢化による市民生活への影響について

- (1) 高齢者の免許証返納に対する行政のバックアップをどう考えるか。
- (2) 法定外公共物（里道や水路等）の維持管理についてどう考えるか。

3 大学周辺の環境整備について

- (1) 学生や教職員だけでなく、地域の住民を含めた安心安全のための防犯、街灯及び道路事情の状況は十分なのか。
- (2) 山口県若者の主張として学生がテレビで、大学生活の不便さを訴えているが、市は学生の声をどのように聴き、かつ対応しているのか。
- (3) 今後も約500名の学生や教職員が増えていくが、学生や教職員が大学生活を快適に送るための施策はどのように考えているのか。

8番 高 松 秀 樹 議員 （一問一答）

- 1 スマート自治体を前提とした行政サービスの質の向上と行政運営の効率化のためのICT（情報通信技術）の活用について

- (1) 少子高齢化社会に対応した住民サービスを維持するためにICTの活用を推進すべきと考えるがいかがか。
- (2) 行政サービスの質の向上と行政運営の効率化のためのICT化の具体的方策は何か。
- (3) 今後どのようにしてスマート自治体を推進していくのか。

2 公共調達における市内業者優先と情報公開について

- (1) 随意契約の令和元年度上半期の総支出額は幾らか。また市内業者、準市内業者、市外業者への発注率及び支出額は幾らか。
- (2) 随意契約は入札と比べると市内業者優先の概念が希薄だと感じる。随意契約はどのような考え方のもと、どのような仕組みで行われているか。
- (3) 今後どのようにすると随意契約も市内業者を優先することができるかと考えるか。
- (4) 公募型・指名型プロポーザル方式での業者選定の結果は公表しているか。
- (5) 病院局、水道局、山口東京理科大学も市内業者優先の概念で契約を行っているのか。

9番 奥 良 秀 議員 (一問一答)

1 通学路交通安全プログラムの運用状況・その課題と課題解決について

- (1) 市内の交通事故件数・市道での交通事故件数と通学路の交通事故の件数と内訳を問う。
- (2) 交通安全プログラムの運営状況を問う。
 - ア いつ実施しているのか。
 - イ 構成員はどのように選定しているのか。
 - ウ 危険箇所を抽出する基準はあるのか。
 - エ 危険箇所の危険度合いを表す危険度の判定基準はあるのか。
 - オ 安全対策を行う際の、優先順位を判断する基準はあるのか。
- (3) 現状の交通安全プログラムの課題について問う。
 - ア (2)の事柄に対しての課題はあるか。
 - イ 地域住民の要望に対して的確に答えられているか。
 - ウ 安全対策を行い交通事故は減少しているか等の検証は行っているか。
- (4) より良い交通安全プログラムへと向上するための方策について問う。
 - ア 地域住民との情報交換を的確に行い、より具体性のある情報収集を行うべきではないのか。
 - イ 警察との連携を密にして、事故多発箇所の選定や科学的・技術的な

改良を行うべきではないのか。

10番 藤岡修美議員（分割質問・分割答弁）

1 自然災害に強いまちづくりについて

(1) 本市の防災対策において、過去の災害を踏まえた上で、台風や大雨などの自然災害に対してどのような災害を想定しているか。

ア 台風による風水害の想定について

イ 大雨による水害や土砂災害の想定について

ウ 高潮による災害について

(2) 想定される自然災害に対して、どのような対策がなされているのか。

ア 治山対策について

イ 砂防対策について

ウ 河川対策について

エ 海岸対策について

オ 低地対策について

カ ため池対策について

(3) ハザードマップ作成の目的と利用状況について聞く。

ア 洪水ハザードマップについて

イ 土砂災害ハザードマップについて

ウ 高潮ハザードマップについて

エ 津波ハザードマップについて

オ ため池ハザードマップについて

カ 内水ハザードマップの作成について

2 本市公共施設（文化・スポーツ）の利用予約について

(1) 本市公共施設（文化・スポーツ）の予約方法について聞く。

(2) 本市公共施設（文化・スポーツ）の予約状況について聞く。

(3) 公共施設予約システムの導入について聞く。

11番 岡山明議員（分割質問・分割答弁）

1 下水道について

(1) 下水道・浄化槽等の割合はどうか。また、普及率の目標設定はどうか。

(2) 単独浄化槽から下水道等への転換状況はどうか。

(3) 敷設後の下水道管への接続状況はどうか。また、合併浄化槽とのすみ分けはどうか。

(4) 下水道管の敷設工事について問題はないか。

2 小野田南中川墓地の管理について

- (1) 改葬等、基数の動向はどうか。
- (2) 環境整備等の管理状況はどうか。
- (3) 設備（水道）の維持管理・継続について、ごみステーション・駐車場等の設置はどうか。
- (4) 今後の管理・運用についてどう考えるか。

1 2 番 松 尾 数 則 議員 （一問一答）

1 山陽小野田市中山間地域づくり指針について

- (1) 新たに指針が改定されたがその目的、必要性について聞く。
- (2) 中山間地域の第一次産業について聞く。
- (3) 山口県がやまぐち元気生活圏づくりで進めている中山間地域の強みをいかした多様な産業の振興と関連する事業の取組状況を聞く。
- (4) 中山間地域の集落を維持するための仕組みづくりについて聞く。
- (5) 移住・定住・交流の促進による中山間地域U J Iターン、観光・交流について聞く。
- (6) 情報スーパーネットワーク（Y S N）を活用した基地局整備の促進による携帯電話の不感地域の解消について聞く。
- (7) 中山間地域が安心・安全に住み続けられる地域社会として構築されるための教育、地域医療、交通網の充実を聞く。

1 3 番 宮 本 政 志 議員 （分割質問・分割答弁）

1 ごみ問題について

- (1) 不法投棄ごみの現状及び課題とその対応について聞く。
- (2) ごみ減量化に向けての取組について聞く。
- (3) 環境衛生センターに隣接する小野田処分場の現状及び課題とその対応について聞く。

2 農業政策について

- (1) 用排水路の維持管理の現状及び課題とその対応について聞く。
- (2) 深刻な鳥獣被害の現状及び課題とその対応について聞く。

1 4 番 中 村 博 行 議員 （分割質問・分割答弁）

1 厚陽地区の活性化について

- (1) 厚陽地区では、現在のA D S L回線を光回線に転換する強い要望があるが、インターネットの環境整備についての考えを問う。
- (2) 厚陽小中学校は、児童・生徒数の減少から、将来、複式学級移行への懸念が増している。校区の再編、見直しについての考えを問う。

- (3) 厚陽小中学校の北部、農業振興地域では耕作放棄地が広がっている。
農用地を除外し、民間活用による住宅政策など、考えを問う。
 - (4) 下津から梶までの県道の状態を市は道路パトロールにより、どのように認識しているか。県への報告等はしているか。
 - (5) 厚陽団地など空き家の増加が顕著になっているが、空き家対策事業の進捗状況はどうか。
- 2 児童・生徒のスマートフォンや携帯電話の使用について
- (1) 児童・生徒のスマホ、携帯電話の所持状況やSNSなどの使用状況の実態調査はどうなっているのか。
 - (2) 使用についての危険性などの啓発や指導、対策はどのようにしているか。
- 3 高齢化対策について
- (1) 各地で百歳体操が行われているが、その実態についての調査や支援等はどうか。
 - (2) 高齢化の急速な進行から健康寿命の延伸策が重要となる。その一案として、100歳大学の設置について研究してはどうか、考えを問う。

15番 杉本保喜議員（分割質問・分割答弁）

1 防災対策について

- (1) 台風19号の災害状況から、本市の治水の検証状況を問う。
- (2) 11月に市の防災訓練を実施したが、その中での避難所訓練の成果と問題点からその対策を問う。
- (3) 避難した妊婦や乳幼児と母親への対策を問う。
- (4) 小・中学校防災教育の現状と今後の方策を問う。

2 市民活動について

- (1) 市民活動支援センターの現状と今後の体制を問う。
- (2) おもてなしサポーターの現状と今後の対策を問う。
- (3) 地区社協、女団連、自治会、ふるさとづくり協議会、老人会等地域での市民活動に対する行政の支援体制の方向を問う。
- (4) 都市計画マスタープランの実現化方策(3)協創によるまちづくりの推進において既存の市民活動をどのように組み込んでいくのかを問う。

16番 水津治議員（分割質問・分割答弁）

1 小学生・中学生のバス通学について

- (1) バス通学が可能な小・中学校の現状を聞く。
- (2) バス通学ができる要件を聞く。

- (3) バスカードが利用できる要件を聞く。
 - (4) バスカードの予算額を聞く。
 - (5) 小学生に対する路線バス利用体験等の取組を聞く。
- 2 小学生・中学生の自転車通学について
- (1) 自転車通学が可能な小・中学校の現状を聞く。
 - (2) 自転車通学ができる要件を聞く。
 - (3) 登下校（小・中学校）に保護者が送迎している現状を聞く。
 - (4) 中学生の登下校時の自転車事故の状況を聞く。
 - (5) 小学生・中学生に対する自転車事故防止対策への取組を聞く。
- 3 バスの無償化について
- (1) 小学生・中学生の通学にバスの無償化ができないか。
 - (2) 無償化により地方バス路線維持費補助金の減額につながらないか。つながるのであれば自動車運転免許証返納者に対するバスの無償化が検討できるのではないか。